

2018年3月吉日

2018年度総会・研究集会のご案内

2018年度日本付着生物学会総会・研究集会を下記の要領で開催いたします。事前の参加申し込みは締切りましたが、当日も受け付けておりますので、皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

記

日 程:2018年3月26日(月) 9:30~17:20

会 場:東京海洋大学 品川キャンパス 白鷹館講義室

参加費(要旨集代を含む。懇親会参加費は別途3,000円):

1. 会員(正会員1,000円、学生会員無料、賛助会員1口につき1名無料)
2. 非会員3,000円、非会員学生1,000円(当日入会の場合は会員と同額になります)

プログラム

9:30~9:35 開会挨拶

9:35~12:00 研究発表(午前の部:一講演につき質疑を含め15分)

1. 9:35~9:50

褐藻マツモ糸状体形成に対する水温と光量の影響

○難波信由(北里大海洋)・篠塚美佐希(理研食品株式会社)・藤原孝行(岩手県庁)・西洞孝広(岩手水技セ)

2. 9:50~10:05

ヒョウガライトヒキクラゲ(新称) *Acromitus maculosus* の初期生活史

○三宅裕志・奥晴香(北里大海洋)・北田貢・足立文(新江ノ島水族館)・池田周平(加茂水族館)・大塚攻・近藤裕介・飯田健・米谷まり(広島大)・Ephrime Metillo(ミンダナオ州立大)・Honorio Pagliawan(西フィリピン大)・西川淳(東海大)・戸篠祥(琉球大)・本多志穂(北里大海洋)・大越健嗣(東邦大)

3. 10:05~10:20

フィリピンにおける *Vallicula multiformis* の初記録

○和田菜花・三宅裕志(北里大海洋)・足立文(新江ノ島水族館)・大塚攻(広島大)・池田周平(加茂水族館)・米谷まり(広島大)・Honorio Pagliawan(西フィリピン大)・Ephrime Metillo(ミンダナオ州立大)・大越健嗣(東邦大)

4. 10:20~10:35

クラゲ洋上処理システムに適用した鋼製クラゲ回収装置の防食・防汚対策について

塩田浩太(姫路エコテック株式会社)

5. 10:35~10:50

カギノテクラゲ *Gonionemus vertens* の付着嗜好性に関する研究

○菅野響樹・石井晴人(海洋大)

一休 憩一

6. 11:00~11:15

青色LED光源へのキブリス幼生の誘引行動を利用した船底防汚の基礎実験

○三村治夫・廣野康平・中西勇斗(神戸大院海事科学)

7. 11:15~11:30

キブリス幼生の付着板面に着生する位置の主効果及び発光細菌の青色光への自発的移動と着生

○喜多村匡郎(神戸大海事科学)・三村治夫・首藤信通(神戸大院海事科学)・遠藤紀之(姫路エコテック株式会社)

8. 11:30~11:45

ポリマーブラシ表面における生体キブリス幼生付着器官の凝着力評価

○小林元康・山口由佳・塩本昌平(工学院大)・野方靖行(電中研)

9. 11:45~12:00

表面化学組成の違いがフジツボの着生に及ぼす影響

○百々瀬愛・瀬川雄太・平井悠司・下村政嗣(千歳科技大)・室崎喬之(旭川医大)・野方靖行(電中研)

一昼 食一

13:00~13:30 総会

13:40~16:20 研究発表(午後の部:一講演につき質疑を含め15分)

10. 13:40~13:55

ポリグリコール酸の海洋付着生物防汚性に関する研究

○村野大輔・山根和行・鈴木義紀(株式会社クレハ)・神谷享子・山下桂司(株式会社セシルリサーチ)・宮前孝

行(産総研)

11. 13:55～14:10

β -シトロネロール誘導体イソチオシアネート化合物の合成とフジツボキブリス幼生に対する付着阻害活性の評価

○中嶋菜摘(東京農工大)・野方靖行(電中研)・吉村えり奈(株式会社セレス)・千葉一裕・北野克和(東京農工大)

12. 14:10～14:25

α, α -二置換アミノ酸誘導体イソニトリルの合成とフジツボキブリス幼生に対する付着阻害活性の評価

○井上祐来・高嶋脩平(東京農工大院)・野方靖行(電中研)・吉村えり奈(株式会社セレス)・千葉一裕・北野克和(東京農工大院)

13. 14:25～14:40

海産有肺類イソアワモチ(収眼類)のRGB 識別能力と上陸行動

○尾城隆(首都大生命科学)・伊藤那津子・幸塚久典・関藤 守(東大三崎臨海)・近藤逸人(海洋大海技研)・黒川信(首都大生命科学)

14. 14:40～14:55

駿河湾沿岸域に漂着したエボシガイ(節足動物門:甲殻類)の形態分類と主要形質の変異に関する考察

○渡邊拓弥・塚越哲(静岡大院総合科学技術)

— 休憩 —

15. 15:05～15:20

道東における在来及び外来フジツボに対する捕食者の非消費型効果

○頼末武史(北大 FCS 厚岸)・Julius Ellrich(St. Francis Xavier Univ.)

16. 15:20～15:35

大槌湾の潮下帯岩礁における固着動物の群集動態

○神吉隆行・中本健太・早川淳・北川貴士・河村知彦・渡邊良朗(東大大海研)

17. 15:35～15:50

大槌湾における移入種ナンノウフジツボの付着密度・付着潮位の季節変化

加戸隆介(海生研)

18. 15:50～16:05

アカフジツボの幼稚体における殻形成過程の解析

○黄裕謙(秋田県立大)・野方靖行(電中研)・吉村えり奈(株式会社セレス)・小黒一岡野美枝子(ヤマザキ学園大)・岡野桂樹(秋田県立大)

19. 16:05～16:20

沖縄トラフ深海熱水噴出域に生息するゴエモンコシオリエビに付着する生物群集

唐澤舞(北里大海洋)・○渡部裕美(海洋研究開発機構)・三宅裕志(北里大海洋)

— 休憩 —

16:30～17:20 招待講演

「付着性多毛類が生態系や産業に与える影響」

東北大学大学院農学研究科 准教授 大越和加

17:30～19:30 懇親会(東京海洋大学生協食堂)

問合せ先

日本付着生物学会事務局

E-mail : sosj-post@bunken. co. jp

TEL : 03-5937-5716

FAX : 03-3368-2822

郵送 : 〒162-0801 新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

日本付着生物学会事務局

以 上